

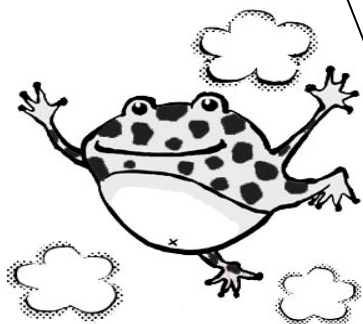
かえる便り 27年度17号

平成27年9月8日

新秋の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

先日、元日本代表監督の岡田氏と中村文昭さんの講演を同じ日に聞きました。二人に共通することは、“今、すべきことを全力でする・集中する”ということです。また、二人が夢やビジョンを人に語り、その実現に向け努力しているから人の輪が広がっていることも同じだと思います。 縁尋機妙 多逢勝因

夢やビジョンは誰でも持てますが、それを実現するために努力する人、そうでない人がいます。“今”しなければならぬ事を直ぐに行動に移しているから賛同が得られるのです。また、行動するから力がつくと思いますよ！中村さんは18歳の時に出会った師匠からの教え4つを今でも守っているそうです。



中村さんの師匠の父親（彼）について彼は教師になることを目指していた。家が貧しいため昼は工場勤務をし、夜間高校で学んでいた。少ない給料から学資をコツコツと貯めていたけれど足りない。彼はとんでもない行動に出た！誰もいない隙に、工場の機械に自らの左手を挟み重度の身体障害者の道を選んだ。毎朝ない左手首を見て、奮起し誓いを新たにし青少年の育成に尽力したそうです。同じ道を生きる者として、そこまで強烈な思いがあるか？自省する日々です。

それは、簡単なことです。しかし、その当たり前を実行する人は少ない。同じことを聞き、見ていても行動するかしないかで差がでます。それが積み重なり習慣になるととんでもない大きな違いになるのです。（高校生が聞くといいのですが…）

返事は0.2秒！（素早く） 頼まれごとは、試されごと！（行動・態度は？）

出来ない理由を言うな！（でも、しかし…） 今出来ることをやれ！

14歳でデビューし21歳で芸能界を引退した山口百恵さんは、中村文昭氏と全く違う生き方をしているように思います。ラストコンサートをお願いしたヘアメイクさんのところへ、引退後一度も行っていないそうです。全てを断ち切って今の生活を大切にしているのでしょうね！但し、“今を全力で生きる”ことは同じだと思います。

「山口百恵という人は、チャンスの神様をただの一人も逃さずにその前髪をつかんできた、化学反応を起こす相手を選んできたんだと言ってもいいでしょう。そしてそれは、強烈な意志を持って、文字通り全力で真剣に生きていたからこそできたのだと思います。結婚も引退も、誰に相談するのではなく、自分自身で決めてしまう…、いやあ、カッコいいなと思います」

（彼女を知る人の言葉から、何を学びますか？ 運は待っていても来ないよ！）